

次期将軍を暗殺せよ！
江戸幕府を揺るがす襲撃計画の全貌！

クラシック・シネマ

『大殺陣』

『十三人の刺客』の脚本&監督コンビが贈る第二の集団抗争時代劇。白と黒のコントラストを強めたモノクロ映像で描かれる熾烈な攻防はドキュメンタリーのように。田んぼの中、敵味方が泥だらけになりながら繰り広げるクライマックスの大チャンバラは強烈にして、壮絶！

この男の宿命は、
人を“斬る”ことだった…。

クラシック・シネマ

『斬る』

柴田錬三郎原作のアートな正統時代劇。三隅研次監督は様式美溢れる素晴らしい映像で、観る者を魅了。特にラスト間際の暗殺シーンの演出は時代劇史に残る名場面。また無駄を徹底して廃し、一人の侍の悲しき宿命を浮き彫りにした新藤兼人の脚本、孤高の剣士の市川雷蔵も拔群。

これが殺人犯の素顔だ！
若き泉ピン子の下品な語りが聞ける異色作。

クラシック・シネマ

『戦後猟奇犯罪史』

『復讐するは我にあり』のモデルになった西口彰、愛人を殺害した歌手・克美しげる、強姦殺人鬼・大久保清の犯行を再現した実録もの。3つのエピソードをナビゲートするのは、泉ピン子の下品なナレーション。大久保清を演じる川谷拓三の大熱演は必見。スゴイです！

この主人公に起こることは
決して他人事ではない！

クラシック・シネマ

『黒い画集 あるサラリーマンの証言』

東宝の松本清張映画の最高作。真綿で首を絞めるようなサディスティックな展開が生み出す強烈な緊迫感は凄い。小林桂樹を筆頭に適役揃いの出演陣の中、強烈な印象を残すのは原知佐子。なま足がとってもセクシー！コーエン兄弟の映画が好きな人は是非！